



▲収穫されたいちごはケーキ用等に出荷されています



▲知事を囲む佐藤さん(左)と菅野さん(右)

農業復興への取り組み 評価 受賞

平成26年7月に村内産いちごの出荷を再開した「有限会社いいたていちごブランド（佐藤博代表／二枚橋・須萱）」が県内の農業分野で最も権威のある第57回県農業賞を受賞しました。

受賞式は、9月9日に福島市内で行われ、主催者を代表し佐藤さんが内堀雅雄県知事から表彰を受けました。知事は「高い志と情熱で営農再開に取り組んできた労苦に心から敬意を表します。今後も、県内農業をより一層リードしてほしい」とたたえました。

いちごブランドが受賞した賞は、今回新たに設けられた「復興・創生特別賞」です。全村避難が続く中で、村内での営農再開を果たし、村農業復興のけん引役となっていることが評価されました。受賞に対して佐藤さんは「これまでのがんばりが少し報われた。来年春には、生産規模を震災前と同量まで戻す予定。村民の仲間と共に、がんばっていきたい」と決意を新たにしました。



▲保護者から今後の教育について質問が寄せられました



▲村が検討している教育環境を説明しました

村内学校再開に向けて

村教育委員会は、9月2日、村役場飯野支所で平成30年4月からの村内学校再開に向けた保護者説明会並びに意見交換会を行いました。

会では、集まった保護者約30人に学校再開に向けた認定子ども園や小中一貫校、スポーツ公園施設の概要などについて説明がありました。保護者からは「村内で学校が再開した際のスクールバス運行」や「小中一貫校での授業時間の違い」などについて質問が寄せられました。

村教育委員会では、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習を展開するとともに、保護者が安心して通わせられる学校や教育環境を目指して検討していきます。ご質問も受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

認定子ども園、校舎UNGN
教育課 ☎0244(42)1631

スポーツ公園施設について
生涯学習課 ☎0244(42)0072

工事始まる「道の駅ままでい館」

8月26日、深谷地区に来夏完成予定の「道の駅ままでい館」建設工事の安全祈願祭が行われました。

祈願祭には約50人が出席し、地元地権者、施工業者らが玉串をささげ工事の安全を祈りました。式に出席した菅野村長は「村は多くの災害を乗り越えてきた。先人に誇れるような施設を整備したい」と願いを込めました。

「ままでい館」は復興拠点として、野菜や花などを販売する予定です。また、ままでい館は、新たな地域活性化の取り組みを国が後押しする重点「道の駅」に選ばれています。



▲「道の駅ままでい館」の完成予想図

「支援に感謝を込めて」

8月28日、昨年度にふるさと納税をしていただいた方の中から、東京都在住寄付者を招いた感謝の集いを、学士会館（東京都）で開催しました。村が直接、感謝を伝えようと開き、寄付者ら133人が参加しました。

この日は、復興に向かう村の歩みなどを紹介する映像を上映した後、菅野村長が「これからが正念場。村をしっかりと復興していきたい」と決意を表しました。続いて、参加者らが菅野村長や村議員、村職員らと意見を交わし、交流を深めました。

村には、今年8月末までに約1万5000件、約4億円の寄付が寄せられています。



▲来場者全員で「村民歌」を歌いあげました



村内飯館中学校・スポーツ公園の整備計画をお知らせします。

平成30年4月からの村内学校再開に向けて、現在の飯館中学校と隣接するスポーツ公園の整備が検討されています。中学校敷地内には、幼稚園と保育所をひとつにした認定子ども園、小学生用体育館、プール、給食センターの新設を計画しています。

